

令和 7 年度上半期 経営報告会

令和7年11月17日



目次

令和7年度上半期の業績（2025年4月～9月）

令和7年度経営計画の進捗状況……………	3	4-1 有価証券の運用状況……………	10
1-1 預金積金の残高……………	4	4-2 有価証券の評価損益……………	11
1-2 預金積金の内訳……………	5	5-1 純資産の状況……………	12
2-1 貸出金の残高……………	6	5-2 自己資本比率の状況……………	13
2-2 貸出金の内訳……………	7	5-3 不良債権の状況……………	14
3-1 損益の状況……………	8		
3-2 損益の増減要因……………	9		

対処すべき課題への取組状況

課題1.「永遠のファンを増やす」への取組状況……………	17
課題2.「笑顔の組織をつくる」への取組状況……………	20
課題3.「金庫の価値を高める」への取組状況……………	23
コンプライアンス・リスク管理態勢の更なる強化……………	25
おかげさまで「創立75周年」……………	26

本資料に記載の計数は、単位未満を切り捨てて表示しております。
なお、合計等は原数値で計算してから切り捨てて表示しておりますので、表上の合計が一致しない場合があります。

令和7年度上半期の業績

(2025年4月～9月)

令和7年度経営計画の進捗状況

□ 第1 1次中期経営計画（3カ年計画）の2年目

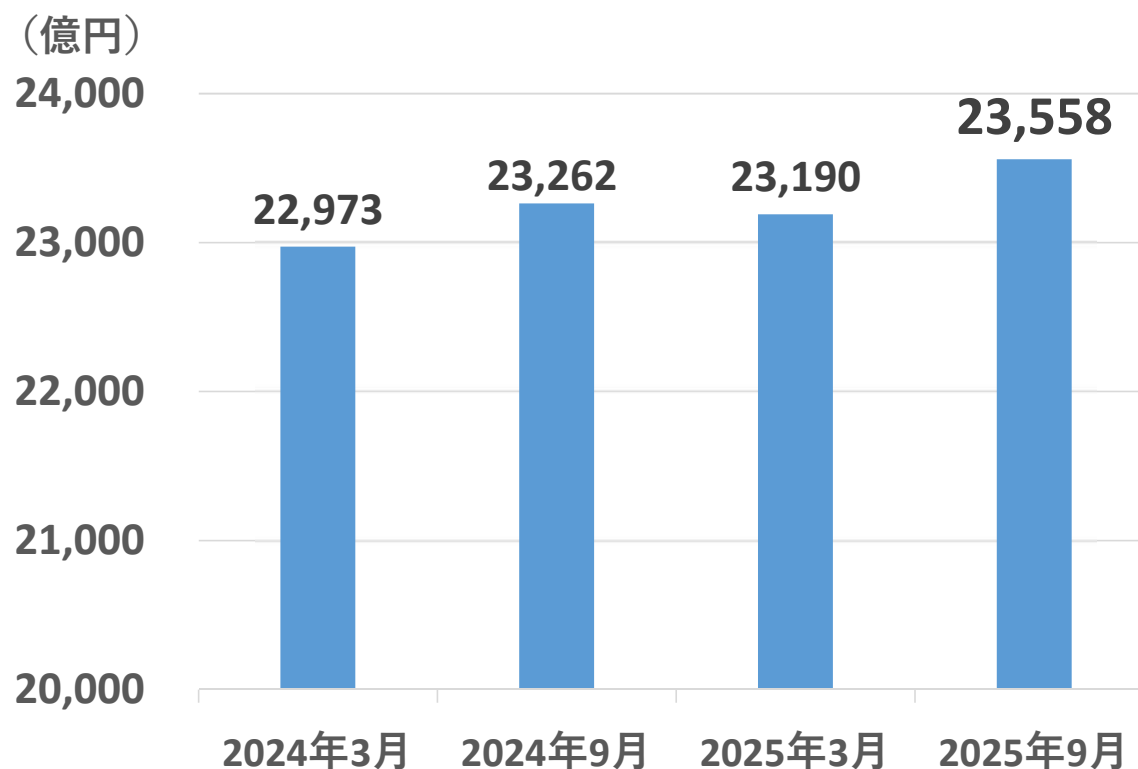
指 標	項 目	令和7年度 計画	上半期 実績	進捗状況
規 模	預金残高（期中平均残高） （下段：前期比）	23,300億円 （+ 285億円）	23,161億円 （+ 146億円）	△139億円 （51.22%）
	貸出金残高（期中平均残高） （下段：前期比）	12,300億円 （+ 325億円）	12,104億円 （+ 129億円）	△196億円 （39.69%）
収益性	お客さま向けサービス業務粗利益 （※1）	12,700百万円	6,063百万円	47.74%
	コア業務純益 （投資信託解約損益を除く）	5,200百万円	2,719百万円	52.29%
生産性	コアOHR（※2）	70.00%以下	69.02%	—

（※1）お客さま向けサービス業務粗利益＝貸出金利息－預金利息×預貸率＋役務取引等利益

（※2）コアOHR＝経費（減価償却費・預金保険料除く）÷コア業務粗利益（投資信託解約損益除く）

1-1 預金積金の残高

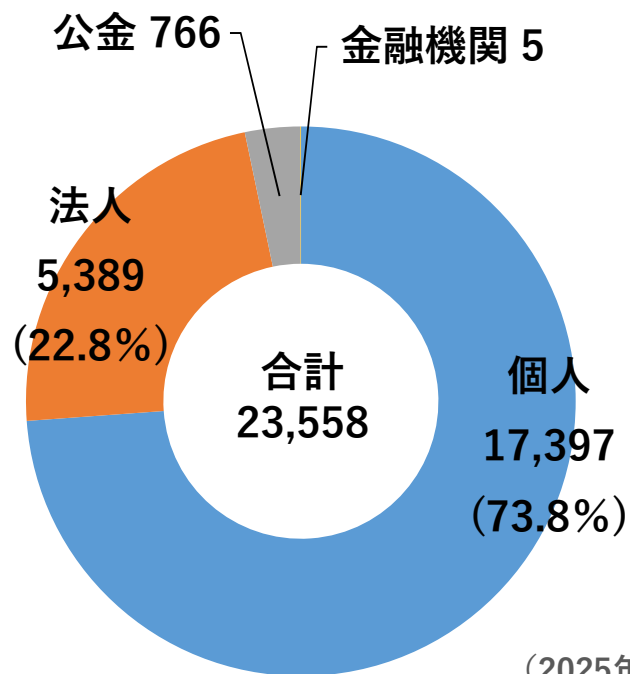
- 預金積金残高は2兆3,558億円、前期末比368億円増加
- 個人のお客さまは前期末比39億円増加
- 法人のお客さまは前期末比204億円増加



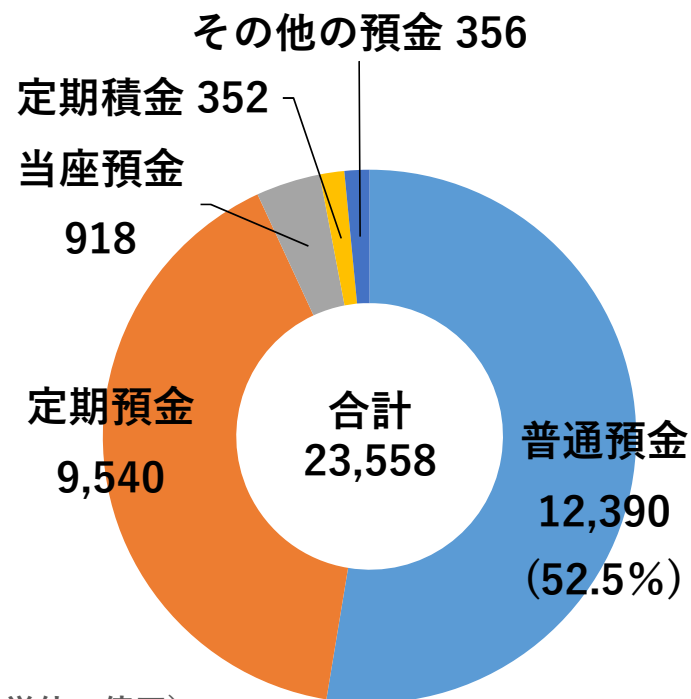
1-2 預金積金の内訳

- 個人のお客さまからの預金積金が全体の73.8%
- 科目別では、普通預金が全体の52.5%

預金者別預金積金残高



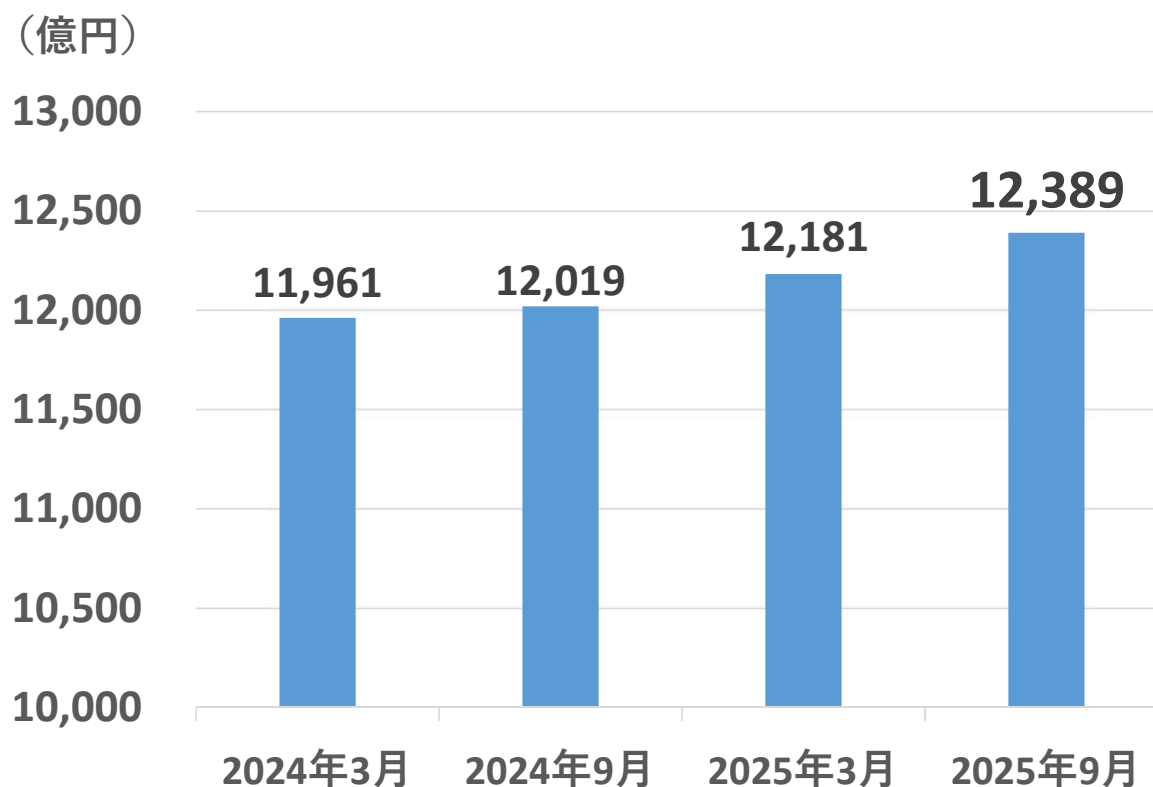
科目別預金積金残高



(2025年9月末、単位：億円)

2-1 貸出金の残高

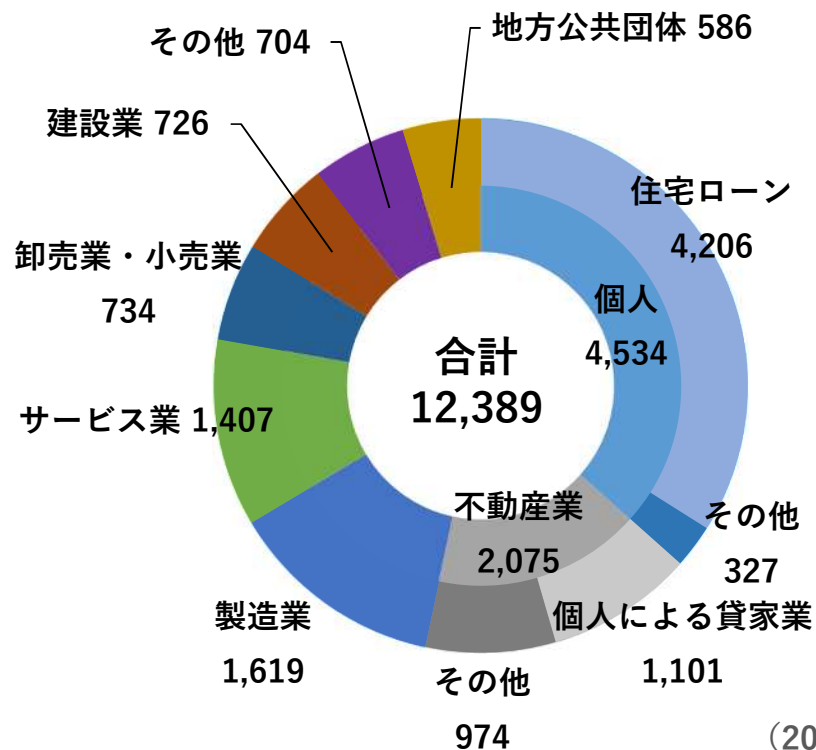
- 貸出金残高は1兆2,389億円、前期末比208億円増加
- 個人向け貸出は前期末比56億円増加
- 事業者向け貸出は前期末比102億円増加



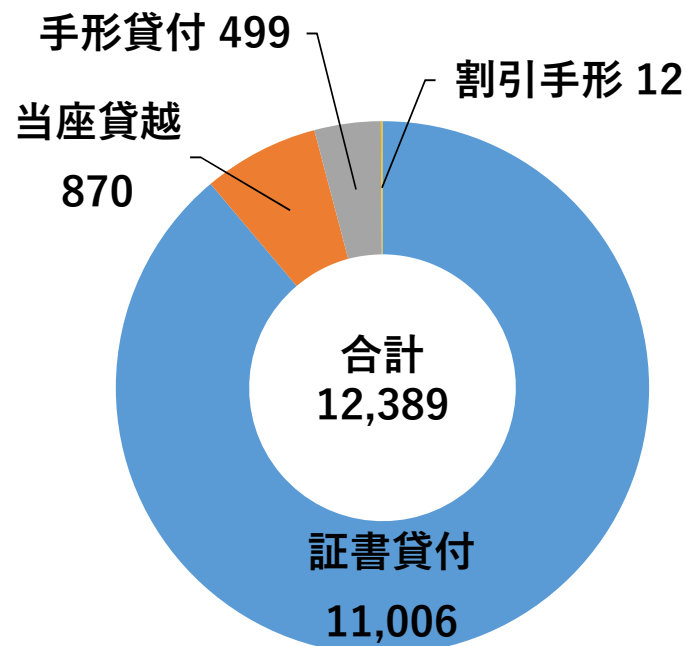
2-2 貸出金の内訳

- 特定の業種に偏ることなく、幅広い業種の資金需要に対応
- 事業者向けの貸出金が全体の58.6%、個人向け貸出金が全体の36.5%

業種別貸出金残高



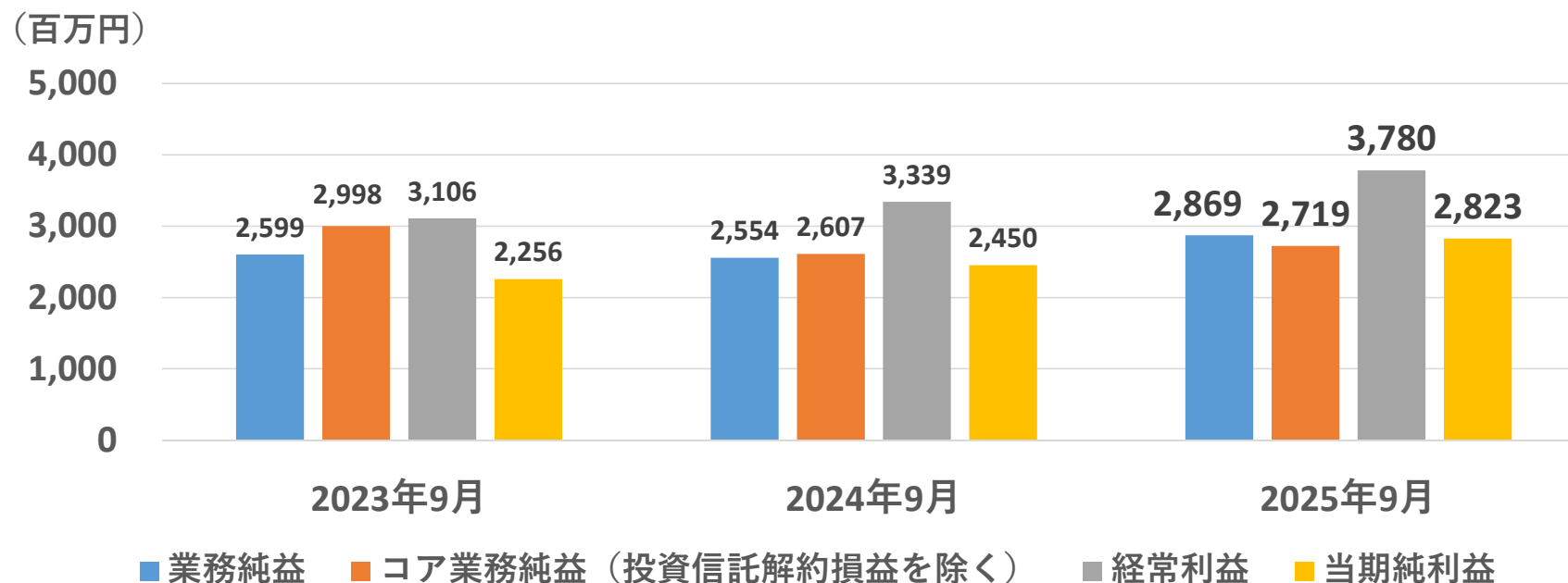
科目別貸出金残高



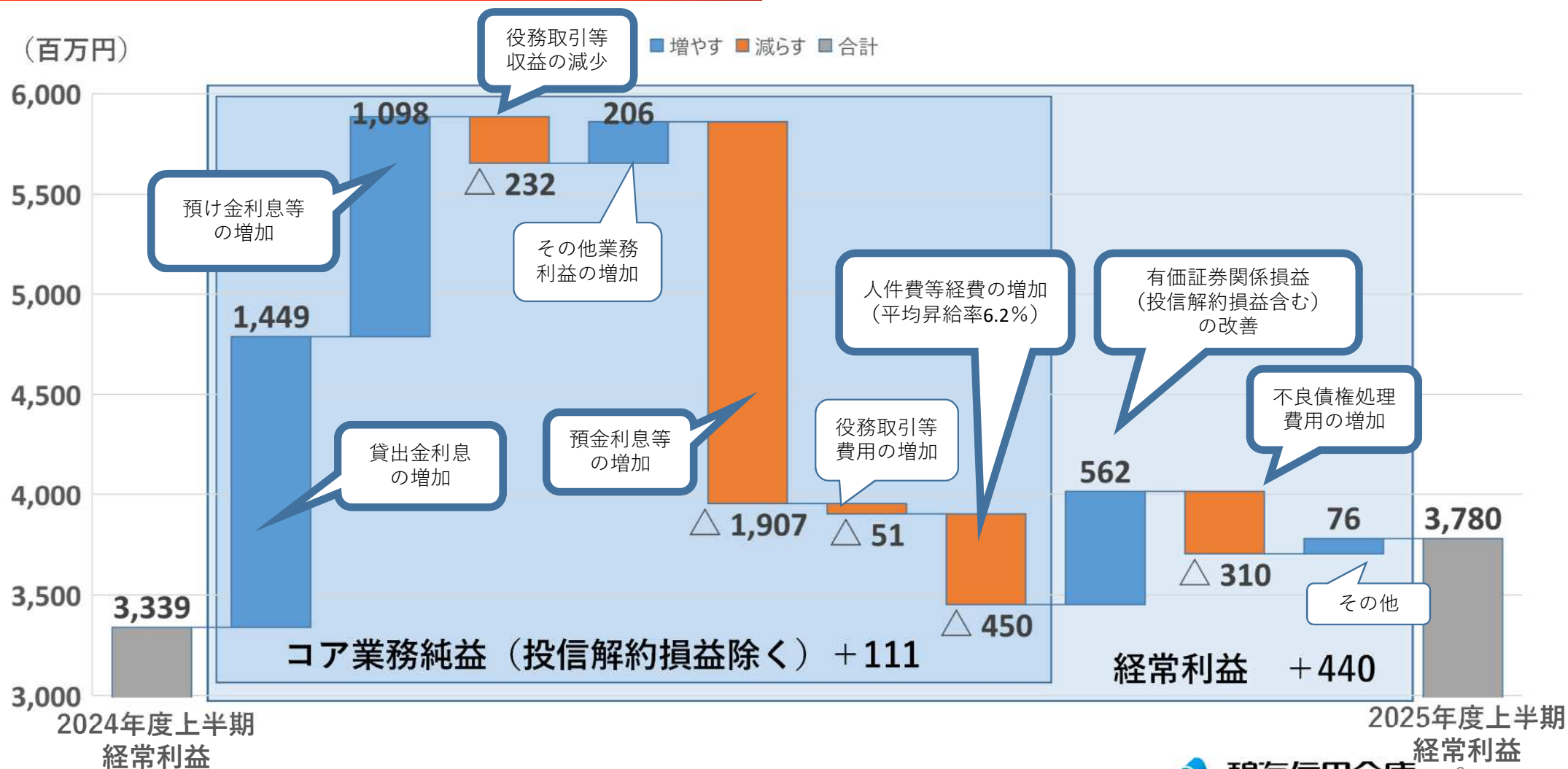
(2025年9月末、単位：億円)

3-1 損益の状況

- 業務純益・・・28億69百万円（前年同期比 +3億14百万円）
- コア業務純益（投資信託解約損益を除く）
・・・27億19百万円（前年同期比 +1億11百万円）
- 経常利益・・・37億80百万円（前年同期比 +4億40百万円）
- 当期純利益・・・28億23百万円（前年同期比 +3億72百万円）

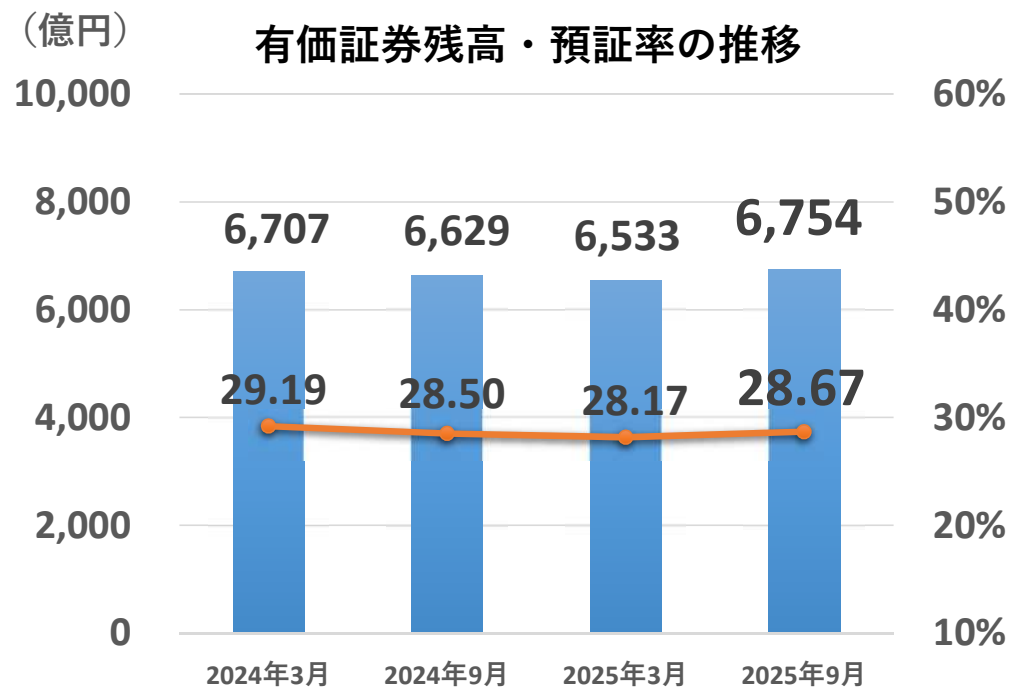


3-2 損益の増減要因

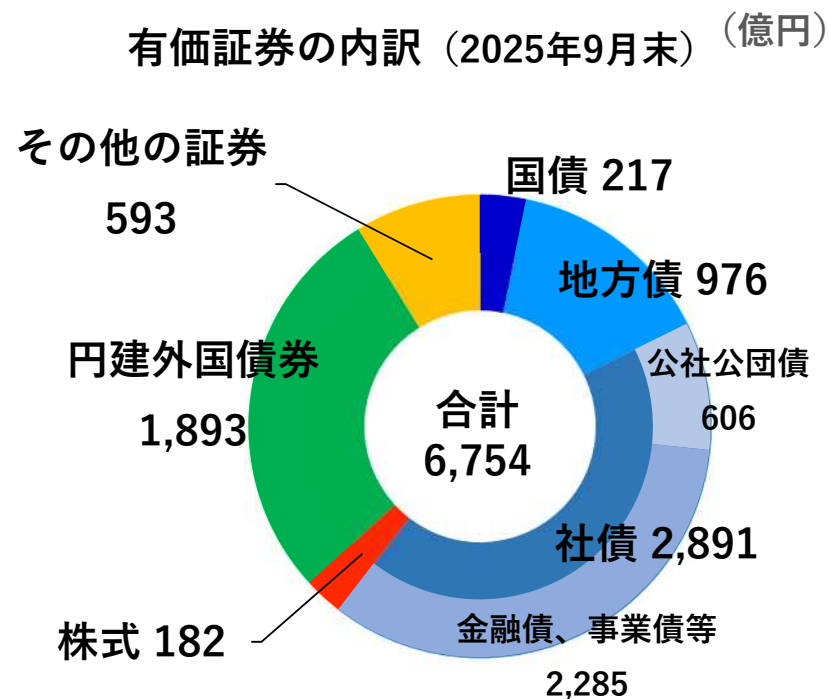


4-1 有価証券の運用状況

- 有価証券残高は6,754億円、前期末比221億円増加
- 預証率は28.67%
- 国内金利の上昇に備え、リスク抑制的な運用を継続



※預証率 = 有価証券残高 ÷ 預金積金残高



4-2 有価証券の評価損益

- 有価証券の評価損益は、前期末比4億円改善の△494億円
- 保有債券は国債、地方債、格付の高い社債・円建外国債券であり、満期到来などの時間の経過とともに評価損は解消
- 内部留保により蓄積された利益剰余金（1,940億円）で吸収できる水準

有価証券の評価損益

(億円)

	2025年3月末	2025年9月末	増 減
有価証券 計	△498	△494	+4
株 式	38	51	+12
債 券	△467	△502	△35
その他	△70	△43	+27

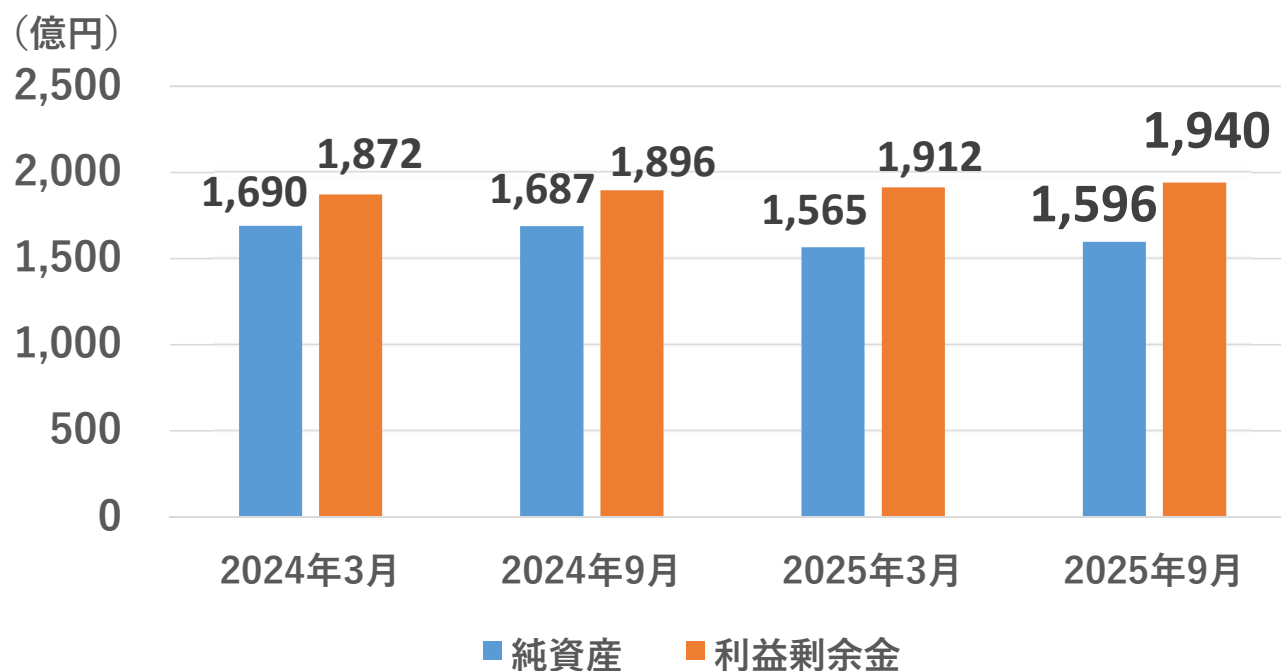
※その他は、投資信託等

※上半期は損切りを簿価ベースで21億円実施しております。

※会計上、時価評価の対象外となる「満期保有目的の債券」は保有しておりません。

5-1 純資産の状況

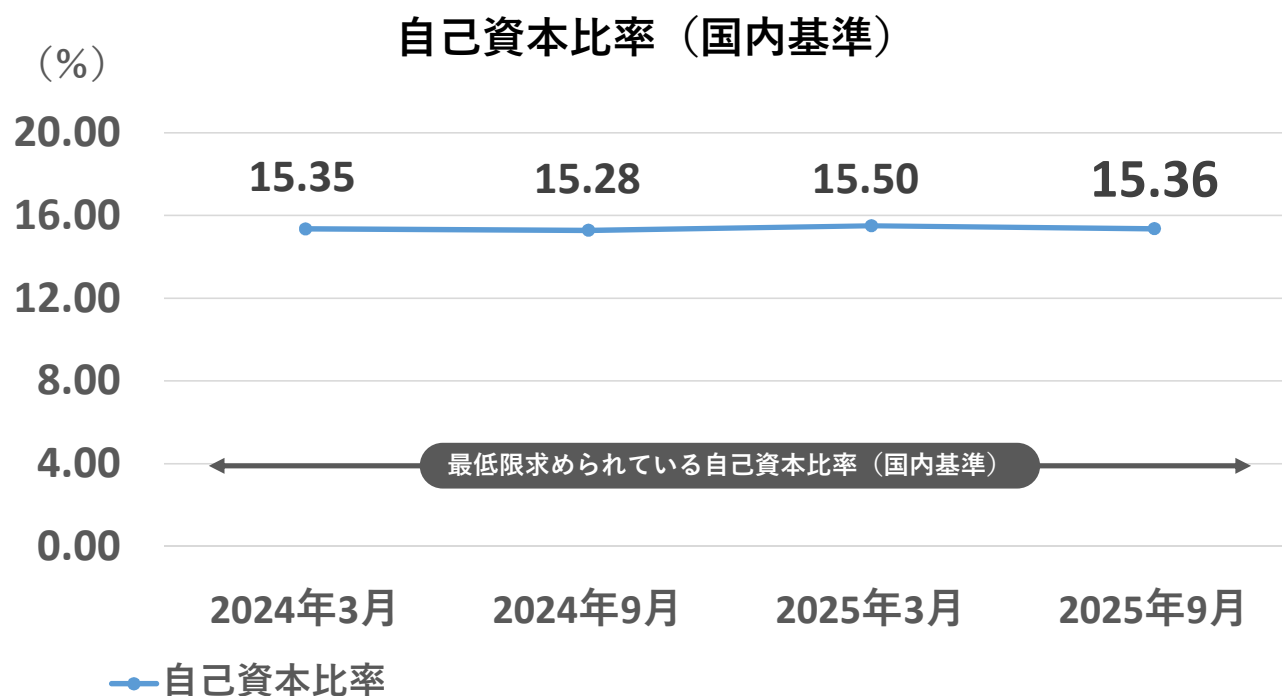
- 内部留保により蓄積された利益剰余金は、前期末比27億円増加の1,940億円と着実に増加
- その他有価証券評価差額金△355億円を控除した純資産は、前期末比30億円増加の1,596億円と高い水準を維持



※ その他有価証券評価差額金：有価証券評価損益 × (1 - 法定実効税率)

5-2 自己資本比率の状況

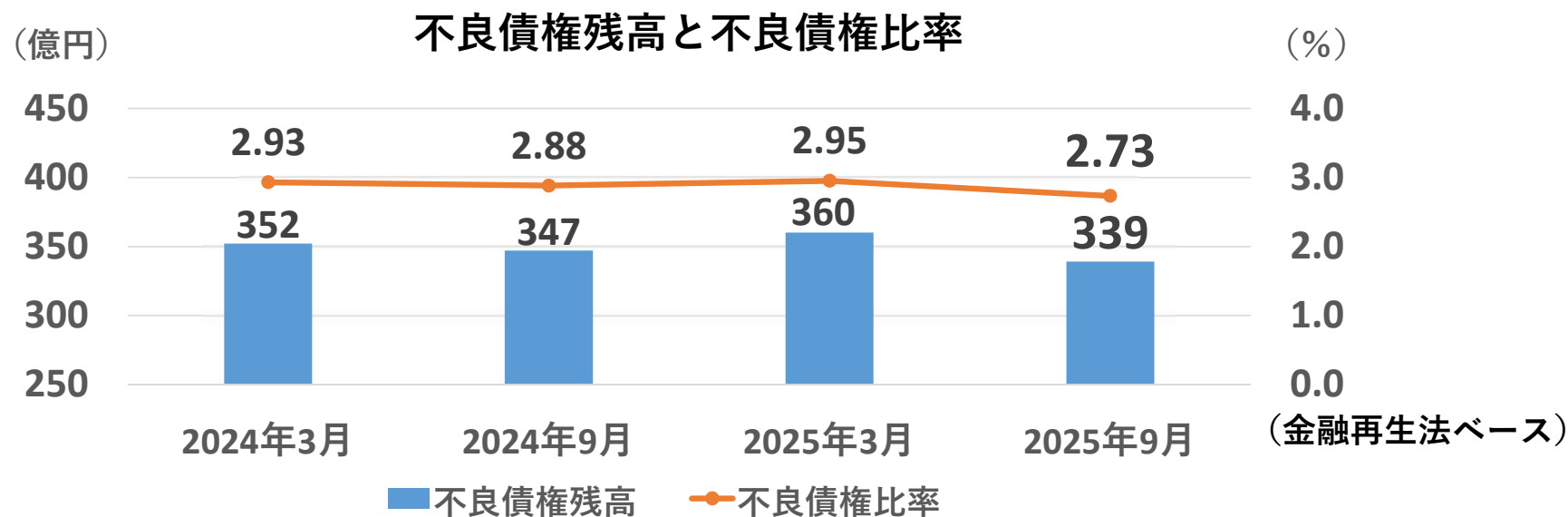
- 自己資本比率は、前期末比0.14ポイント低下の15.36%
- 信用金庫に最低限求められている水準(4%)を大幅に上回る



$$\text{自己資本比率(\%)} = (\text{自己資本額} \div \text{リスクアセット}) \times 100$$

5-3 不良債権の状況

- 事業再生・経営支援活動に努め、地域経済への影響を考慮しつつ削減
- 不良債権残高は前期末比21億円減少の339億円、不良債権比率は前期末比0.22ポイント低下の2.73%
- 不良債権の88.2%を担保や保証、貸倒引当金でカバー



※ 当金庫は債務者に対する債権のうち、回収可能性がないと判断した部分について、直接貸借対照表から減額する部分直接償却を実施しています。
※ 不良債権比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

対応すべき課題への取組状況

令和7年度に取り組む ～3つの課題～

- ＜課題1＞ 永遠のファンを増やす
～地域支援力の更なる強化～
- ＜課題2＞ 笑顔の組織をつくる
～お客さま、職員満足度向上に向けた庫内環境づくり～
- ＜課題3＞ 金庫の価値を高める
～持続的成長を実現する基盤の構築～

< 課題 1 >

永遠のファンを増やす

～地域支援力の更なる強化～
への取組状況



永遠のファンを増やす

～ 地域支援力の更なる強化 ～

● コンサルティング機能の強化

□ 営業店とコンサルティング営業部・個人営業部・デジタル戦略部が一体となって質の高い課題解決営業を実施

□ 主な支援相談件数（2025年度上半期計2,499件 前年同期比＋472件）

事業承継・M&A	252件	金融支援	56件
建設・不動産マッチング	505件	カーボンニュートラル支援	21件
人材紹介支援	176件	医療介護支援	27件
デジタル化支援	158件	相続相談	574件
補助金支援	63件	その他の支援	667件

● お客さまの販路開拓を支援

□ 名古屋商工会議所×碧海信用金庫
「パートナー発掘商談会」を開催

□ 小規模事業者持続化補助金を活用し、
催事販売を中心とした販路開拓支援を実施



パートナー発掘商談会（9月11日）



「すまいるプロデュース！“食べりん”
西三河のうまいもん」開催（10/3～10/5）

永遠のファンを増やす

～ 地域支援力の更なる強化 ～

● スタートアップ企業を活用したオープンイノベーションの創出

- STATION Aiにて「Hekishin Startup Connect」を開催し、地域中小企業とスタートアップ企業のマッチングを促進
- 刈谷イノベーション推進プラットフォーム主催「未来世代に学ぶ生成AI活用ワークショップ」を開催

オープンイノベーションとは自社内のリソースだけでなく、他社や大学等の社外の知識、技術、人材などを活用し、新たな製品・サービスやビジネスモデルを創出することをいいます。

● 地域のお客さまのデジタル化を支援

- 安城商工会議所と地域のデジタル化推進を目的とした連携・協力に関する包括協定を締結
- 安城商工会議所×碧海信用金庫「地域企業向けデジタルツール展示会」を開催



未来世代に学ぶ生成AI活用ワークショップ
(8月18日)



地域企業向けデジタルツール展示会 (7月29日)

< 課題 2 >

笑顔の組織をつくる

～お客さま、職員満足度向上に
向けた庫内環境づくり～
への取組状況

笑顔の組織をつくる

～ お客さま、職員満足度向上に向けた庫内環境づくり ～

● ビジョンをもって笑顔で成長できる庫内環境づくり

□ 働き方改革につながる制度等を整備

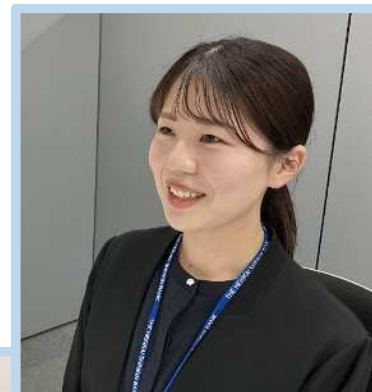
- ・ 奨学金返済支援制度の導入
- ・ 若年層職員への年次有給休暇付与日数の拡充
(入庫初年度 前年度比+6日)
- ・ 本部、事務センター職員のビジネスカジュアルを試行

□ デジタル人材認定「マイスター制度」を導入

- ・ 全職員のデジタル人材化による業務効率化、生産性向上
- ・ 職員のデジタルスキルを3段階の★(星)で認定
※2025年7月～9月 ★(星1) 108名

□ ステップアップ制度の浸透・定着

- ・ 職員一人ひとりの目標を明確化し、達成度に対する評価により賃金ランクが決定する制度
- ・ 年齢や勤続年数に関係なく、高い目標に挑戦し、達成することで、今までより早いペースで昇給や昇進が可能



学ぶ文化の醸成



碧海信用金庫

笑顔の組織をつくる

～ お客さま、職員満足度向上に向けた庫内環境づくり ～

● 店舗リニューアル等

□ 豊田西支店・豊田朝日支店を新築移転（店舗内店舗化）

【店舗の特徴】

◎個室型対話ブースを設置するなど、お客さまとの接点
拡大につながる店舗としました。

□ お客さまニーズを踏まえたATM網の見直し
～店舗外ATMコーナーを新設～

- ・ららぽーと安城出張所
- ・バロー東新町店出張所



豊田西支店・豊田朝日支店
(5月7日オープン)



お客さま・職員の満足度向上に向け
庫内環境の整備・充実に努めてまいります

< 課題 3 >

金庫の価値を高める

～持続的成長を実現する基盤の構築～
への取組状況

金庫の価値を高める

～ 持続的成長を実現する基盤の構築 ～

●業務の集中化(BOC)、デジタル化、シンプル化等による効率経営の実践

□ 生成AI「LITRON」の全店利用開始

- ・ 情報収集や文書作成への活用
- ・ 生成AIが職員の質問に迅速に回答し、お客さまへのレスポンスも向上

お客さまの利便性向上と
効率経営の実践

□ 国税等のキャッシュレス納付を推進

- ・ 刈谷税務署による「キャッシュレス推進デー」に協力
(刈谷税務署管内の11店舗にて開催)
- ・ 職員向け「キャッシュレス納付推進研修」の開催



キャッシュレス推進デー
(令和7年4月～令和8年2月)

コンプライアンス・リスク管理態勢の更なる強化

<第1 1次中期経営計画（3カ年）の主な取組内容>

■ コンプライアンス態勢の強化

- ・ 不正・不祥事防止、ハラスメント防止に向けた取組み強化
- ・ 理事会にてコンプライアンス・プログラムを毎年策定、半期ごとに進捗を管理
- ・ 「こんぷら通信」の発信やコンプライアンス職場会の開催により、職員のコンプライアンス意識の醸成

■ マネロン等管理態勢の強化

- ・ マネロン等対策委員会にて、実効性のあるマネロン対策を協議・実施

■ サイバーセキュリティ対策の強化

- ・ サイバーセキュリティ対策委員会にて、サイバーセキュリティガイドラインへの対応実施
- ・ 毎月の標的型電子メール訓練のほか、サイバー攻撃を想定した演習訓練の実施

お客さまに安心してご利用いただける金庫を目指し、
取り組んでまいります

おかげさまで「創立75周年」

当金庫は、2025年10月25日に創立75周年を迎えました

●創立75周年記念キャンペーン商品

- ・ 創立75周年アニバーサリー定期預金（第1弾～第3弾）
- ・ 創立75周年ウェルカム積金
- ・ 創立75周年記念「年金受取わくわくキャンペーン」

●創立75周年記念事業

□ 安城産業文化公園デンパークにて
「へきしん75周年アニバーサリーフェスタ」を開催

- ・ 開催日：2025年10月25日（土）※創立記念日
- ・ イベント内容：「ほいけんたものまねライブ」
「ダンススクエアMARTH ダンスショー」など
- ・ 来場者数：職員とその家族 約1,200名



深谷理事長あいさつ



ほいけんたものまねライブ

本日は、経営報告会にご参加いただき、誠にありがとうございました。
本日の説明内容に関するご照会等がございましたら、下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

碧海信用金庫
経営企画部 企画グループ
TEL 0566-77-8102

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化などにより、変動する可能性があることにご留意ください。
また、本資料に掲載されております計数につきましては、会計監査人の監査を受けておりません。